

Musashino Apartment

地域に参加する住まい方をもつ3つの集合住宅

1 設計主旨

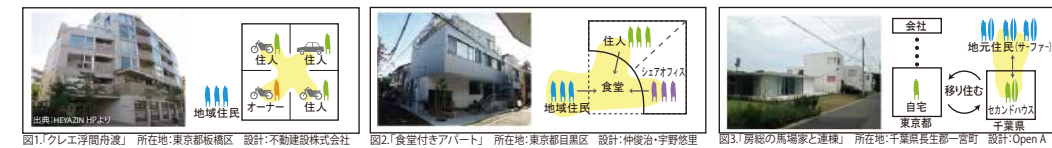
近年、賃貸住宅の空室が増加傾向にある中、住人の趣味やライフスタイルに合わせた物件が現れ、注目を集めている。こうした物件は、共通の趣味に基づいて、住人やオーナーの間に積極的な交流が生まれるという利点をもつ。一方で、こうした交流は建物の中で完結しがちであり、住人・オーナーと地域との関わりが乏しい場合も少なくない。

これらを踏まえ、本計画では、住人とオーナーが共通の趣味や価値観を有しながら、地域の特性を活かしたライフスタイルを楽しめる3つの賃貸住宅を提案する。

2 多様化するライフスタイルと集合住宅

ここでは、多様化するライフスタイルに合わせた集合住宅の事例をあげ、考察する。図1は、バイクや車を住戸中に持ち込める集合住宅の例である。ここでは、オーナーがツーリングなどのイベントを開催し、住人のコミュニティづくりを積極的に行っている。しかし、ここで行われている交流は、建物の中で完結しており、地域との接点はみられない。図2は、共用部である食堂を地域に開放し、住人と地域が結びついた集合住宅の例である。ここでは、食堂を介して住人と地域住民の間に交流が生まれている。図3は、サーファーのためのセカンドハウスの集合住宅の例である。2つの住まいをもつことで、それぞれの地域性を楽しみながら、2つの地域コミュニティに所属することを可能としている。

これらの事例は、今までの集合住宅にはない、コミュニティやライフスタイルを生んでおり、集まって住むことのあらたな豊かさを示している。



3 計画地

東京都小平市・小金井市・武蔵野市に存在する【学生街】【農地】【繁華街】という異なる地域性をもつ3つの敷地を抽出する。全長10kmの間に点在しており、自転車での移動が可能な範囲とする。

【学生街エリア】 東京都小平市



ここは付近に武蔵野美術大学が立地することから、一人暮らしの学生が多く住む地域である。大学で行われる学園祭などのイベントは地域との交流を生んでいる。

【農地エリア】 東京都小金井市

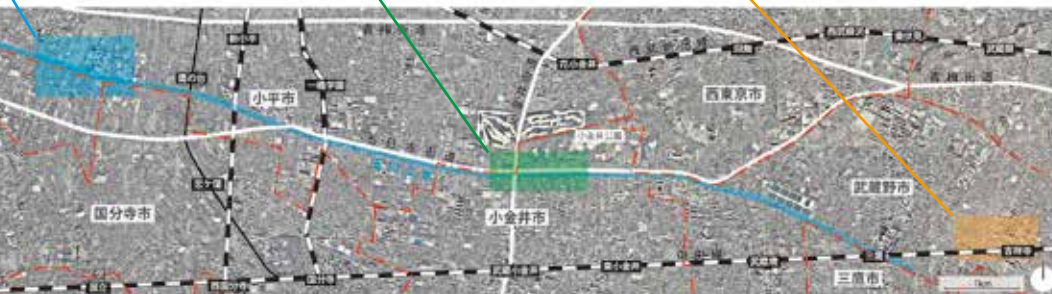


ここは広い農地が広がる地域である。農家が通りに農作物の直売所を構える『江戸の農家みち』が買い物を引き込み、地域住民と農家を結びつけている。

【繁華街エリア】 東京都武蔵野市

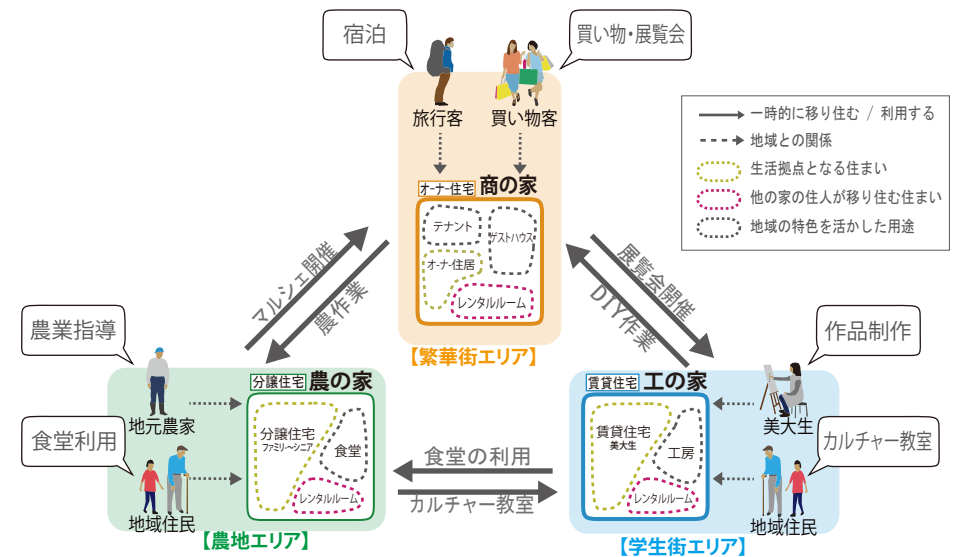


吉祥寺駅近くの買い物客で賑わう繁華街と住宅街の混在する地域である。様々な用途の建物が密集して建つ地域であり、雑然とした町並みをつくりだしている。



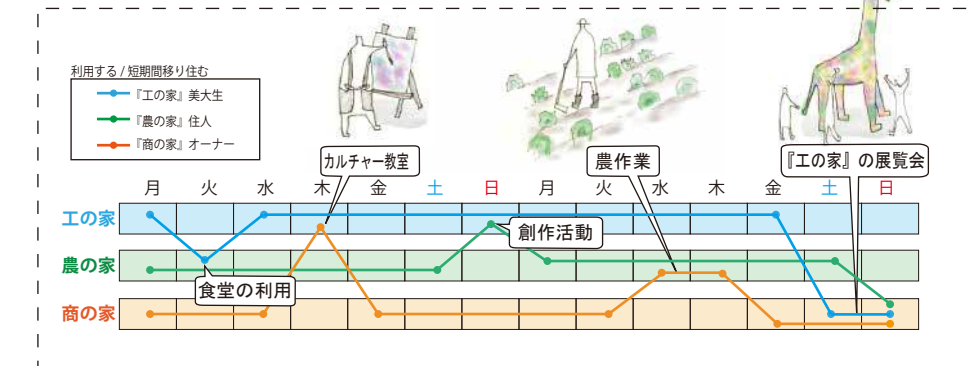
4 地域性を活かしたライフスタイル / 3つの集合住宅の連携

異なる特色をもつ敷地に建つ、3つの集合住宅に移り住むことが可能なライフスタイルを計画する。住人とオーナーは、平日はそれぞれ生活拠点となる家に住み、休日は他の場所の施設を利用して余暇活動を行うことが出来る。また、それぞれの集合住宅には簡易的に宿泊出来るレンタルルームがあり、他の場所の住人が短期間移り住むことができる。この様に、住人とオーナーが3カ所の集合住宅を移り住むことで、異なる地域性を楽しみながら趣味や価値観を共有する住まい方が可能となる。



5 ライフスタイルのイメージ

『工の家』の住人、『農の家』の美大生、『商の家』のオーナーの一週間のライフスタイルをイメージする。それぞれの住人は、3つの集合住宅の施設を、または短期間移り住み、余暇活動を楽しむ。週末には『商の家』でイベントを開催し、3つの集合住宅の住人の交流を深める。



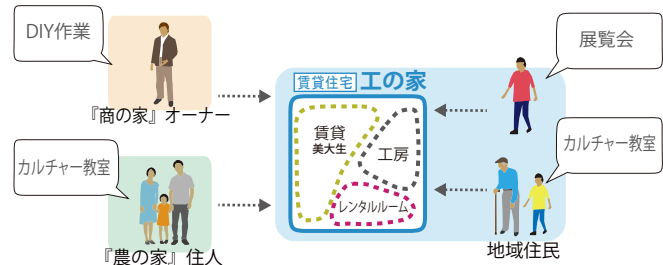


工の家

【学生街エリア】であるこの地域には、付近に立地する美術大学に通う学生が多く居住することから、ここにはものづくりやデザインを指向する美大生が入居する、工房付き賃貸住宅を計画する。

プログラム

工房は入居する美大生だけではなく、『商の家』のオーナー、『農の家』の住人も利用できる。また、ここではカルチャー教室や展覧会が行われ地域住人が日常的に訪れることができる場となる。

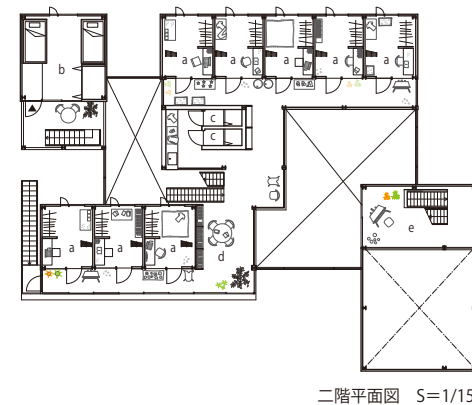
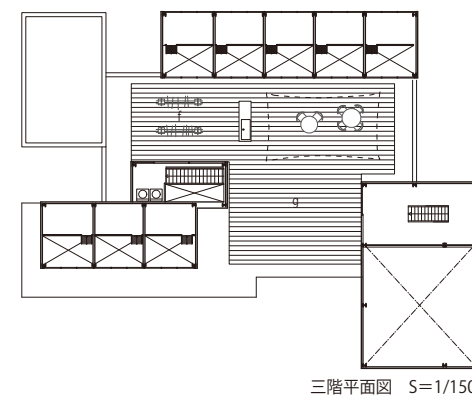
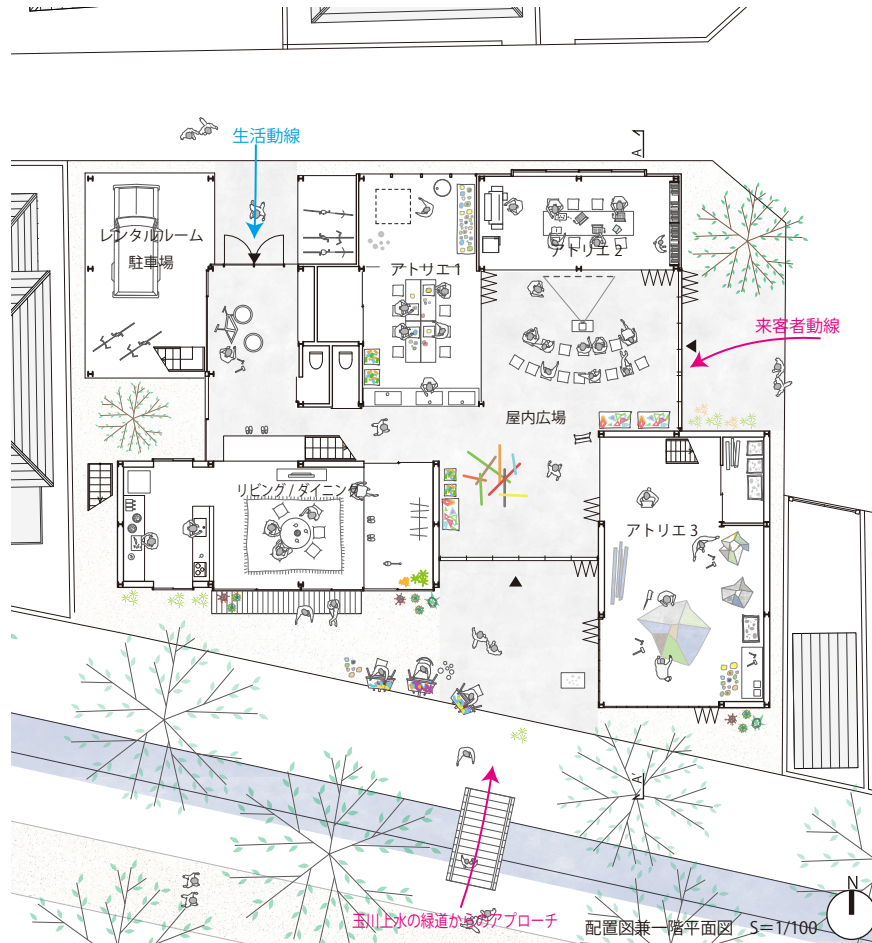
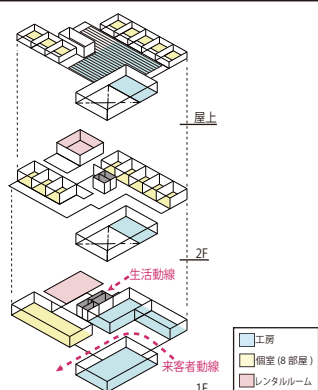


計画地

計画地は武蔵野美術大学にほど近い玉川上水の緑道に面した住宅地である。付近には多くの美大生が居住している緑道は散歩道として多くの地域住民に利用されている。



全体構成



a: 個室 b: レンタルルーム c: シャワー室 d: 図書スペース
e: 小アトリエ f: 物干テラス g: アトリエテラス



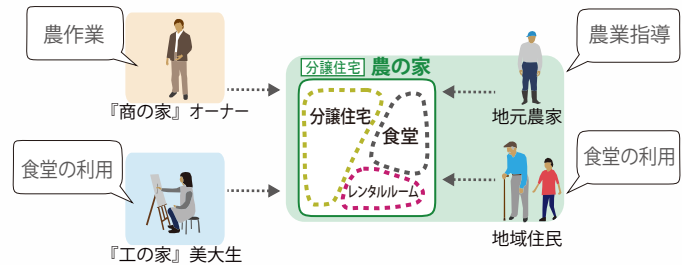
通りに面して開かれた食堂と野菜の直売所が、地域住民を引き込む。

農の家

【農地エリア】であるこの地域は、農地や農作物の直売所が多くみられることから、ここには農業体験をしながら暮らすことのできる、独立性の高い分譲住宅及び食堂を計画する。

プログラム

『商の家』のオーナーと『工の家』の住人も地元農家の指導のもと、農業体験を行うことができる。食堂は3つの集合住宅の住人と農家、地域住人の交流の場でもある。

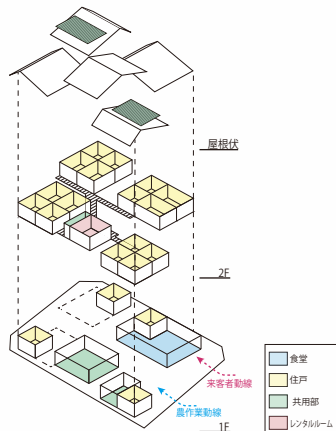


計画地

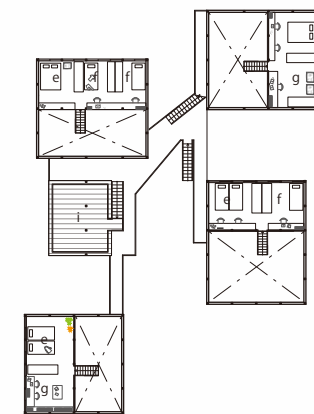
計画地は多くの農家が通りに野菜の直売所を開いている『江戸の農家みち』沿いの敷地とする。計画地に隣接する『ボモナ農園』では農業体験教室を行っている。



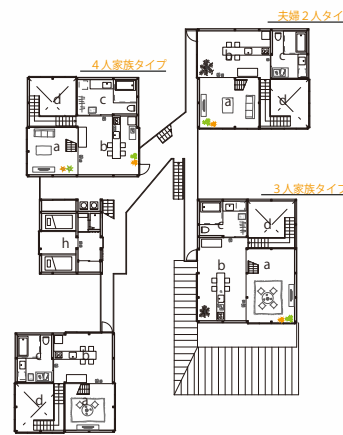
全体構成



配置図兼一階平面図 S=1/150



三階平面図 S=1/200



二階平面図 S=1/200

a: 居間 b: 台所・ダイニング c: 水回り d: 吹き抜け
e: 寝室 f: 子供室 g: テラス



2F 住戸は大きな開口と吹き抜けによって住戸全体がワンルームとなっている。





ガラス張りのファサードによって、屋内の活動が街へ映し出される。



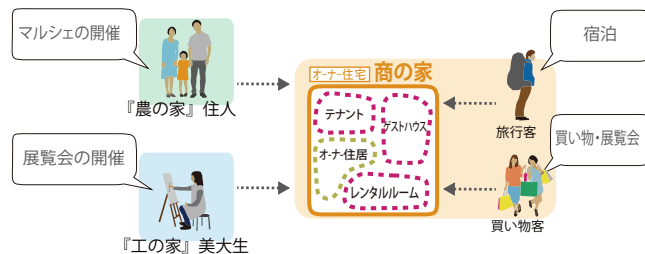
屋内広場：屋内広場はイベント時に多目的な使い方ができる。『工の家』の展覧会の時は、高い吹き抜けを利用して大きな作品の展示が可能である。買い物客や旅行客など多くの人がゆるやかに集まる場となる。

商の家

【繁華街エリア】であるこの地域は、商業施設のひしめく繁華街に位置することから、ここにはテナント店舗、ゲストハウス、オーナー住居を計画する。

プログラム

ここでは『工の家』の美大生が展覧会、『農の家』の住人がマルシェなどを行うことができる。3つの集合住宅の住人と繁華街の買い物客、旅行客など、多くの交流を生む場となる。

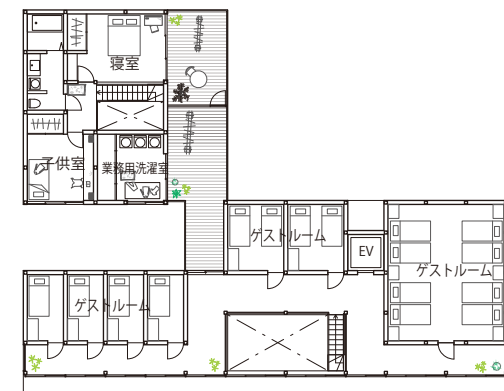
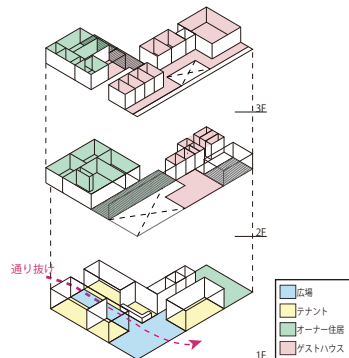


計画地

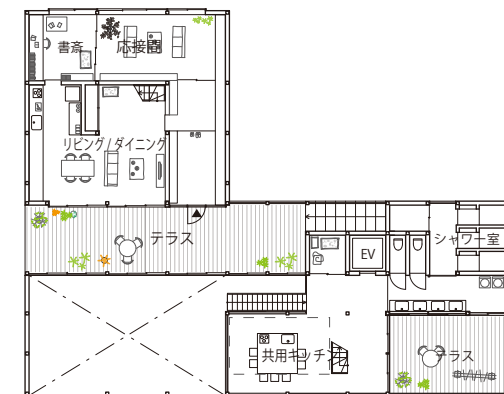
計画地は吉祥寺駅近くの繁華街に位置する『中道通り商店街』と『井の頭通り』を結ぶ路地沿いの敷地とする。



全体構成



三階平面図 S=1/150



二階平面図 S=1/150